

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月13日

令和元年度(3年目)

事業コード	39	事業名	受託業務・地域振興事業評価運用管理事業			戦略コード	4	戦略名	機動的・効率的な商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	創生プラン推進課	担当課長名	加藤慎也	施策コード	20	施策名	受託業務・地域振興事業の見直し指針の策定		

【事業内容】

<b>1. 事業実施当初の背景</b>									
商工会における各種団体の受託業務や地域イベントについては、業務量の多さや一時期に集中することなどから、商工会の本来業務である個社支援への影響を軽視できない状況に陥ることもある。そのため、客観的な基準による検証・見直しができる仕組みの構築が求められている。									
<b>2. 事業のねらい</b>									
事業評価委員会を設置し、評価に係る実施要領に定められた必要性、有効性及び効率性の観点から、客観的・統一的な基準により点検し、真に必要な受託業務・地域振興事業の適切な選択や今後の対応・改善策等を明らかにするための材料を得る。									
<b>3. これまでの評価結果</b>	過年度	H29	B	H30	B	R1		R2	
受託業務・地域振興事業の見直し指針を策定し、統一指針を示すことができた。									
<b>4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応</b>									
各商工会において、受託業務・地域振興事業の見直し指針により進めている受託業務・地域振興事業の整理等について、進捗状況の確認や分析を行い、見直し推進に向けた支援を行う。									

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
90	受託業務・地域振興事業の見直し指針の策定	受託業務・地域振興事業の見直し指針については、既に策定済みであり、実施・検証段階に入っている。	a	a	a	A
91	事業評価委員会の設置	各商工会において、事業評価委員会等の設置による評価を行っている。	a	a	b	B
92	事業評価委員会の設置による検証	各商工会において、事業評価委員会等での検証を進めている。	a	a	b	B

<b>評価指標と実績</b> 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)																	
取組コード	92					取組コード						取組コード					
指標名	設置商工会数					指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	21	-	-	-	-	目標						目標					
実績	21	-	-			実績						実績					
達成率	100%	-	-			達成率						達成率					
達成度	a	-	-			達成度						達成度					

【事業評価】

<b>1. 3つの観点からの評価</b>
<b>【必要性の観点】</b> 現状の課題に照らした妥当性 <b>【取組評価】</b> の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) <b>a</b> <評価の理由> 受託業務・地域振興事業について、全県の取組状況や課題等の整理が進んでおり、更に個別具体的な支援につなげていく必要がある。
<b>【有効性の観点】</b> 事業目標の達成状況 <b>【取組評価】</b> の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) <b>a</b> <事業の目標は達成されているかどうか> 商工会創生プラン個別相談会や商工会実態調査結果を基に、進捗状況の確認や分析を行い、課題については問い合わせ等個別の対応を行っている。
<b>【効率性の観点】</b> コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 <b>【取組評価】</b> の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) <b>b</b> <コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由> 各商工会における最新の取組状況(受託料収入等)について把握した上で全体管理を行っており、効率的に進めている。
<b>2. 総合評価・理由</b> A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 <b>B</b> 受託業務・地域振興事業の整理等については、受託業務・地域振興事業の見直し指針に基づいた進捗状況の確認や分析を行った。加えて商工会支援部の巡回や商工会創生プラン個別相談会でのヒアリング、商工会実態調査結果の活用による分析等を行った。
<b>3. 課題</b>
・各商工会の受託業務及び地域振興事業の見直しについて、取組状況や事業評価委員会の評価結果を確認した上で全体の進捗管理等を行い、それぞれの状況に応じた個別具体的な支援を強化する必要がある。 ・受託業務・地域振興事業評価の実施要領について、実態を把握した上で必要に応じた内容の改訂が必要である。
<b>4. 今後の対応方針(改善点)</b>
・各商工会が取り組んでいる受託業務及び地域振興事業の見直し指針の活用による事業整理等の状況を確認し、先行して進んでいる商工会の取組を事例として紹介すること等により、見直しが遅れている商工会への個別具体的な支援を強化する。 ・実態を把握した上で必要に応じて受託業務・地域振興事業評価の実施要領について、改訂を行う。